

# 小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立南川小学校

学年・人数：4年生・22名  
実施日：令和5年10月4日（水）

## ～もっと知ろう・保倉川～ 南川小学校4年生が保倉川について学びました！

### ● 実施概要

- 日時：令和5年10月4日（水） 13:50～14:40  
場所：南川小学校 教室  
参加者：南川小学校4年生 22名  
内容：室内講座～プレゼンテーション資料を用いた保倉川の学習～
- ①保倉川の歴史（大昔の保倉川のすがた）
  - ②今の保倉川の特徴（流量・水質など）
  - ③過去の水害と治水
  - ④これからの治水「流域治水」の考え方

### ● 講座の様子



地殻の隆起による保倉川の成り立ちや、保倉川が関川に合流するようになった経緯などを教えてもらいました。



下流ではよく濁っており一見汚く見える保倉川の水質や流れる水の量について、身近な例から分かりやすく学びました。



過去の保倉川水害の写真も交えながら、近年増加する洪水の現状を知ることができました。

流域治水の推進 ～みなさんのできること～

流域治水の3つの考えかた

- ① 氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策  
→川に雨が流れこむ流域(山・田・町)で水を減らす、遅らせる
- ② 被害対象を減少させるための対策  
→水があふれても水が来ないところに住む・大事なものを置く
- ③ 被害の軽減、早期復旧・復興(ふっきゅうふっご)のための対策  
→水があふれても逃げられるように考える、情報集める

この3つの対策を一体で進めることで、水害による被害を減らします。

これが関川の流域(黒線がかまれたところ)だよ。ここに降った雨は青い川に流れ込んで日本海へ行くね。流しきれないときは川からあふれてこの流域のどこかを水でうめてしまうこともあるよ。この流域の水についてはこの流域の中全部にいきよするんだ。

水害の増加に対応する「流域治水」の考え方について学び、水害を防ぐため住民自身にできることは何なのかを考えてみました。